



黒磯南高校 ～ 授業とリンクさせた探究活動 ～

《 特色 》 黒磯南高校は、総合学科の多様な選択科目を活かし、授業の内容から探究テーマを設定し深めていく活動を進めています。探究に必要なスキルを学び活用する活動を繰り返し行い、生徒が自分の将来への見通しを持ちながら、何事にも前向きに取り組み、課題を設定し解決する力を育成しています。

年間予定

1年 4月～My Future Road
自らの将来を見据える活動
1月～黒南TanQ project スタート
ガイダンス
ワークショップ
(疑問を持つとは?、もの見方ワーク)

2年 4月～Ⅰ期 Start Up
調べる科目と内容を決定
中間発表①
調べた内容をさらに深める
中間発表②
9月～Ⅱ期 Quest
探究テーマの設定
インターネット等による情報収集
中間発表③
ワークシートによるまとめ・分析

3年 4月～Ⅲ期 Action
最終発表会



point1

「産業社会と人間」での様々な活動を通して、生徒が自分の将来を見通し、その後の探究活動につなげる。

《 「産業社会と人間」での主な活動 》

- ・「科目選択」の準備
内容:大学見学、専門学校授業体験、職業人インタビュー etc.
- ・自身のライフプランについてスライド発表
内容:将来の夢と科目選択、高校生活の目標、深めたいこと…etc.

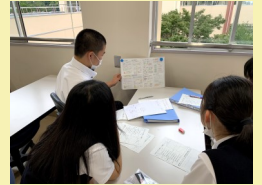
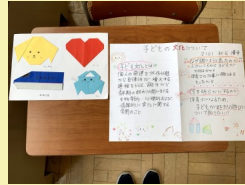


point2

テーマ設定に向けて調べ学習を繰り返しながら、探究に必要なスキルを身に付ける。

《 具体的な取組 》

- ・「調べる内容を決定⇒調べ学習⇒まとめる⇒ミニポスターセッション」のサイクルを2回繰り返す。
- ・探究を進める上で根幹となるスキルを実践を通して学ぶ。
例 「上手なまとめ方とは?」「いい発表とは?」「いいフィードバックとは?」



point3

探究テーマの設定は、ゴールを見通す(仮説を立てる)こととセットで取り組む。

《 主なテーマと目指すゴール 》

- 探究に「半歩」踏み出す掛け算 「関連付け」×「自分ごと」
- ・テーマ:「近い河川(箒川と蛇尾川)にすむ魚がなぜ異なるのか」
→ゴール:河川環境と魚の関係が分かるモデルを製作する。
 - ・テーマ:「人が注目するデザイン」～学校祭のポスターを題材に～
→ゴール:過去の学校祭のポスターを比較し、デザインし直す。

point4

探究してきたことを「見えるカタチ」にして、生徒に達成感を持たせる。

《 具体的な取組 》

- ・これまでに学んだスキルのVersion Upワークを実施。
例 「いい見せ方(表現の仕方)とは?」「いい発表とは?-Final-」
- ・グループごとに、「ビジョン共有会」を実施して見通しを持たせる。
- ・最後に生徒が取り組んできたことをポスターにまとめ発表する。



これまでの主な取組

- 総合学習・探究活動係が中心となって運営
学年や各教科とも連携しながら進めている。
- 情報の共有方法の工夫
短時間の教員向けガイダンスを実施している。
朝の打ち合わせで「今日の探究活動」を共有している。
- 簡易指導案の作成
毎時間作成し、指導内容を共有している。
- 評価方法を確立
「生徒の自己評価(振り返り)」+「ポスター、ワークシート、Summary(研究要旨)等」により評価している。
- 職員の理解を得る工夫
探究の面白さや効果を「見える化」し、指導する上で「教えすぎない」ことを強調している。
- 調べ学習で終わらないための工夫
視点を変えることを促す、教師からの問いかけにより、調べても分からないことがあることに気付かせる。

これから目指す取組

- 合同ポスターセッションで縦に教え合う関係づくり
・2年次生には今後のイメージとビジョンを持たせる。
・3年次生には2年次生への指導を通して自己肯定感を高める。
- 生徒の主体性を引き出す取組
・テーマは個人で設定し、分野に関係なく組んだグループでブラッシュアップする。
・定期的にグループのメンバーを集めて進捗状況を共有する。

《 担当者の声 》 学習指導部長 野澤 宏光

調べ学習を探究にしていけるために、「調べ学習の先が探究」「探究に「半歩」踏み出すことがゴール」という捉え方をするようになって、本校のTanQは大きく変わりました。生徒は、将来学びたいことや就きたい仕事を通して、自分の取り組んでいきたいことを明確にし、進路を見据えながら、前向きに学ぶことができるようになってきています。